化学物質を含む製品の取扱い作業点検シート

平成28年6月1日施工の労働安全衛生法関係法令改正により、一定の危険有害性のある化学物資（640物質など）を含む製品を取扱う事業者について、化学物質等の持つ危険性・有害性を特定し、労働者への危険・健康障害を生じるおそれの程度を見積もり、リスクの低減措置を検討すること（リスクアセスメント）が義務付けられました。以下のステップに沿って安全対策の検討を行ってください。
ステップ①当該作業の責任者を選任（衛生管理者等）
ステップ②化学物質を含む製品の有害性、危険性のリスクレベル算出（製品ラベル、SDSを参照）
ステップ③有害性情報、作業環境を考慮した安全対策の検討

ステップ①当該作業の責任者を選任

点検実施日		作業名	
管理責任者	印	作成者	印

ステップ②化学物質を含む製品の有害性、危険性のリスクレベル算出

取扱製品の名称	スカイレジンFE-1000主材
製品のGHS区分に応じた絵表示 （製品ラベルやSDSを参考に 該当する絵表示を〇で囲む）	

含有する有害 化学物質の名称	リスクの見積もり							
ビスフェノールA型エポキシ樹脂 酸化チタン 結晶質-石英	有害性の リスクアセスメント	有害性 レベル	作業環境レベル詳細 取扱量 a	作業環境レベル詳細 揮発性 飛散性 b	作業環境レベル詳細 換気 状態 c	作業環境 レベル a＋b−c	年間 作業時間	ばく露 レベル	有害性レベルと ばく露レベルから 想定される 有害性リスクレベル※
		C	少 1	中 2	屋内 2	1	400時間超 過	Ⅲ	3
		※有害性リスクレベル　1：低い　2：やや低い　3：中程度　4：高い　5：極めて高い							
	危険性の リスクアセスメント	物理化学的危険性 1次評価				施工環境温度等との比較 2次評価			爆発・火災等の 発生が想定される 危険性リスクレベル ※
		－				－			1
		※危険性リスクレベル　1：ほぼ発生しない　2：可能性がある　4：可能性が高い　6：可能性が極めて高い							

ステップ③安全対策の検討

作業段階ごとの 対策	有害性・危険性への対策（リスク低減措置）				対策実行 状態の振返り
	換気対策	保護具による対策	管理対策（環境測定・教育等）	爆発・火災防止の対策	
保管場所					
準備作業段階					
本体作業段階					
終結作業段階					